

商店街活性化事業計画の概要

地 域	埼玉県秩父市	認定日	平成24年4月13日
-----	--------	-----	------------

事業名：秩父神社の魅力と地域資源を活用したコミュニティ商店街の活性化事業

事業者名： 秩父市商店連盟事業協同組合
事業実施期間 平成24年4月～平成27年3月

■商店街活性化事業の概要

- ・空き店舗を活用した「コミュニティレストラン」を設置・運営し、来街者のふれあい交流スペースを整備するとともに、当該拠点にてエリア内の商店街の店舗への回遊を図るための情報発信も行う。また地元農家と連携し、地場産の安心食材を活用した商品開発を行い、秩父商店街ブランド商品として来街者に提供する。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

- ・アンケートでニーズが高かったのは：1)一人・または家族友人を気軽につれていけるおしゃれなカフェ・レストラン、2)映画館やゲームセンター、ボーリング場などの娯楽施設、3)公園や飲食店に面した魅力的な屋外空間、4)日用品などの店舗や地産地消の生鮮品を扱う市場、5)子育てに便利な施設・子供連れに対応している施設、6)高齢者が楽しめる施設、であった。また、蔵や町屋など歴史的な建物が多く残っている点を気に入っており、これらを有効に活用してまちの誇りと賑わいを創出したいとの要望があった。

◆実施計画の主な内容

- ・空き店舗となっている古い建物を活用してコミュニティレストラン施設を設置。地元産食材を用いた新しいタイプのイタリアン料理を提供し、地域住民が気軽集えるカフェを併設する。
- ・住民が交流する集いの場兼趣味の活動の場をもうけるとともに、同時に商店街の他の区域の案内を行うことでエリア全体への回遊性を促進する仕掛けとして機能させる。
- ・子育て世代が気軽に集い、高齢者が日常的に集える場所を提供することを目指す。
- ・商店街利用客の便利を図る分散配置型駐車場の設置・運営。個店専用スペースや空き地を活用して、少数台の駐車スペースを包括的に運営する。
- ・農商連携により地場産品を活用した商品・メニューの開発や、生産地と市街地の連携で仮設生鮮マーケットの運営を行い、おいしい街というイメージでのブランディングを図る。

■商店街活性化事業計画の目標

- ・商店街の来街者数は、実施計画終了時に、平成23年度と比較して平均1.2%の増加を目指す。
(平成23年 日曜月曜の合算 11,989人→平成28年 12,127人)
- ・商店街全体の販売額は、実施計画終了時に、事業開始前と比較して平均1.2%増を目指す。
(平成19年度販売額 173.3億円→平成28年度販売額 175.7億円)

【商店街の様子】



【秩父夜祭】



【地域資源の活用】

